がん種　大腸癌（BRAF-V600遺伝子変異型）

レジメン名　アービタックス+ビラフトビ+メクトビ療法

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日							
						0	1	2	3	4	5	6	7
1	ボララミン錠2mｇ	2mｇ	内服	30-60分前			○						
2	デカドロン錠4mｇ	8mg	内服	30-60分前			○						
3	アービタックス	(初回) 400mg/㎡ (2回目以降) 250mg/㎡	静注側管	初回は2時間かけて投与。2回目以降は1時間かけて投与。	患者の状態により適宜減量。投与速度は10mｇ/分以下で静脈内注射。 過敏反応の有無確認。		○						
	生理食塩水	250mL					○						
4	生理食塩水	100mL	静注メイン		ルートキープ＆フラッシュ用		○						
5	ビラフトビカプセル75mg	4C　分１	内服	－			○	○	○	○	○	○	○
6	メクトビ錠15mg	６錠　分２	内服	－			○	○	○	○	○	○	○

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　７日

総コース数　制限なし

休薬規定及び減量規定、中止基準

ビラフトビ･メクトビ　下記の副作用が発現した場合

網膜疾患、ぶどう膜炎
- Grade2　：　休薬（Grade1以下に回復するまで）。再開する場合は同量又は1段階減量。
- Grade3　：　Grade2以下に回復するまで休薬→再開する場合は1段階減量して投与
  Grade3が継続→投与中止
- Grade4　：　投与中止

網膜静脈塞栓　：　Grade1以上：投与中止

眼障害
- Grade1~2　：　投与継続
- Grade3　：　休薬（Grade1以下に回復するまで）
  21日以内に回復→再開する場合は1段階減量して投与
  21日以内に回復せず→投与中止
- Grade4　：　投与中止

ビラフトビ

減量して投与を継続する場合の投与量

減量レベル	投与量
通常投与量	300mg１日１回
１段階減量	225mg１日1回
２段階減量	150mg１日1回
３段階減量	投与中止

メクトビ

減量して投与を継続する場合の投与量

減量レベル	投与量
通常投与量	45mg１日2回
１段階減量	30mg１日2回
２段階減量	15mg１日2回
３段階減量	投与中止

アービタックス　下記の副作用が発現した場合

Grade3（重症）皮膚症状：

初回発現時　→投与延期　　Grade2以下に回復後、250mg/㎡で投与継続。回復しなかった場合は中止。
2回目発現時→投与延期　　Grade2以下に回復後、200mg/㎡で投与継続。回復しなかった場合は中止。
3回目発現時→投与延期　　Grade2以下に回復後、150mg/㎡で投与継続。回復しなかった場合は中止。
4回目発現時→投与中止

その他

二次治療以降に使用